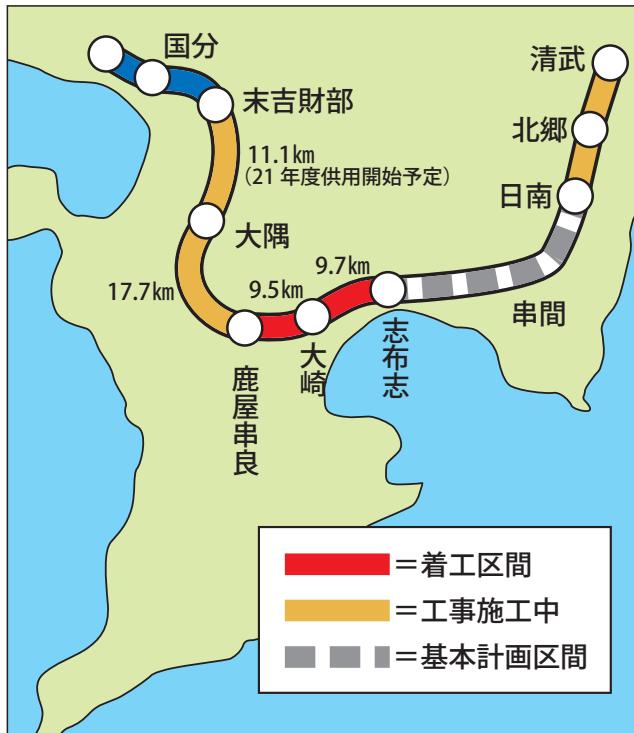


祝 東九州自動車道新直轄事業
「志布志IC～鹿屋串良IC間」起工



武士大隅河川国道事務所長 東大崎町長 野村参議院議員 森山衆議院議員 本田志布志市長 鈴木九州地方整備局長
久保西日本高速道路(株)九州支社長 山下鹿屋市長 伊藤県知事 永田県議会議員 末廣曾於市副市長

志布志市有明町の道路建設予定地で行われた鍬入れ式



志布志市農村環境改善センターで行われた記念式典

志布志IC～鹿屋串良IC間が着工

東九州自動車道

12月16日、東九州自動車道の志布志IC～鹿屋串良IC間の本格的な工事着手を前に、志布志市有明町の市農村環境改善センターで起工式が行われました。

東九州自動車道は、北九州市を起点に大分、宮崎を経て鹿児島に至る総延長436kmの高速自動車国道です。県内では、志布志IC～末吉財部IC間(48km)の



工事着工を祝い、参加者全員で万歳三唱

うち、昨年3月の鹿屋串良～大隅間(約18km)の着工に続き、今回、志布志～鹿屋串良間(約19km)が着工したことで、南九州地域における新直轄区間(国の新たな直轄事業で行う区間)のすべてが着工されたこととなります。

新直轄区間とは、料金収入で管理費が賄えないと見込まれる高速道路の区間において国と地方が3対1の負担割合で整備するもので、これにより、志布志～末吉財部間は、設計速度

100km/hの4車線道路(当面2車線で使用)で、通行料は無料となります。志布志市農村環境改善センターで行われた記念式典には、伊藤県知事や県選出国會議員、沿線市町の関係者など約100人が出席。伊藤県知事は「今回の着工は、県土の一体的浮揚を大きく促進するもの」と述べ、山下鹿屋市長は「首を長くしてこの日をまち望んでいた地元にとっては何物にも代えがたい喜びである」と述べるとともに、高速道路は全線つながってこそ効果を発揮するものであり、今後も引き続き、日南～志布志間の整備計画区間への格上げを訴えました。

記念式典後、志布志市有明町の建設予定地に場所を移して行われた鍬入れ式では、大きなかけ声とともに鍬が入られ、最後は参加者全員で万歳三唱をして、工事着工を祝うとともに工事の安全を祈りました。

【問い合わせ】

市都市政策課高速道対策室
☎0994-31-1130